



杉浦弘子監督作品 ドキュメンタリー映画

監督を招いて 映画上映会

独白

武健一

「ひとの痛みは己の痛み」



奄美群島 徳之島。琉球王朝や薩摩藩の圧政に苦しんだ島。しかしその圧政にも耐え抜いて生きてきた人々。反骨の島に生まれた青年が夢見た大阪、待っていたのは過酷な労働。仲間の解雇に立ち上がる。武健一関西地区生コン支部執行委員長。生コン工場は全国におよそ 3300、その 80%は従業員 10 人以下の中小企業。生コンクリートの産業別労働組合を立ち上げ、大手セメント会社やゼネコンから労働者を守る。

2018 年 8 月 28 日、「威力業務妨害」で不当逮捕。組合の要求は「強要」、「恐喝」、ストライキは「威力業務妨害」。延べ逮捕者 89 名、起訴 70 名以上という前代未聞の労働組合弾圧。武健一の勾留は 1 年半にも及んだ。弾圧に屈せず、権力に抗う棘のような男がいてもいい。武健一の生きざまを描いたドキュメンタリー。(上映 65 分)

2022 年

3 月 13 日(日)

14:00～ (13:30 開場)

会場 サンシップ 501 号室

参加費 1000 円

「棘」上映会実行委員会
2022toge@gmail.com



武健一氏



杉浦弘子監督と平林猛プロデューサー